

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	パラフィンブロックを用いた肺癌・縦隔腫瘍の臨床・病理学的解析		
1. 研究の目的と方法	診断・治療を目的とした検査または手術後の診断に用いられた後の肺癌・縦隔腫瘍組織を用いて、肺癌・縦隔腫瘍の発生・進展に関わるメカニズムを明らかにするとともに、新たな診断法や治療法の開発に関わる基礎的データの取得に役立たいと考えています。		
2. 研究期間	承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関： <input checked="" type="checkbox"/> 附属病院 <input type="checkbox"/> 葛飾医療センター <input type="checkbox"/> 第三病院 <input type="checkbox"/> 柏病院 対象となる方：東京慈恵会医科大学附属病院呼吸器外科において2000年1月1日より2024年9月30日までに肺癌・縦隔腫瘍（カルチノイドなどの腫瘍性病変、再発症例を含む）に対して腫瘍切除術を受けた方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	肺癌・縦隔腫瘍の診断・治療のために切除あるいは生検された腫瘍および非腫瘍組織パラフィンブロック（診断が終了した後の残り）	
	(2) 試料の取得の方法	手術の時に切除し、診断が終了した後の残りのパラフィンブロックを使用します。	
	(3) 情報の種類	患者基本情報、併存疾患、手術内容、術後合併症、病理学的所見、臨床生理学的検査結果、肺癌・縦隔腫瘍関連遺伝子変異検査結果、画像検査所見、術後再発の有無および生存期間など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 病理学講座
		氏名	下田 将之
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>提供先の機関：本研究には該当いたしません。          試料・情報の利用開始予定日：2021年7月頃～</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b></p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 病理学講座          研究代表者：下田 将之（しもだ まさゆき）          電話：03-3433-1111（内線：2231）          対応時間：平日 09：00 ～ 17：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。